

こしがや市議会だより

harmony

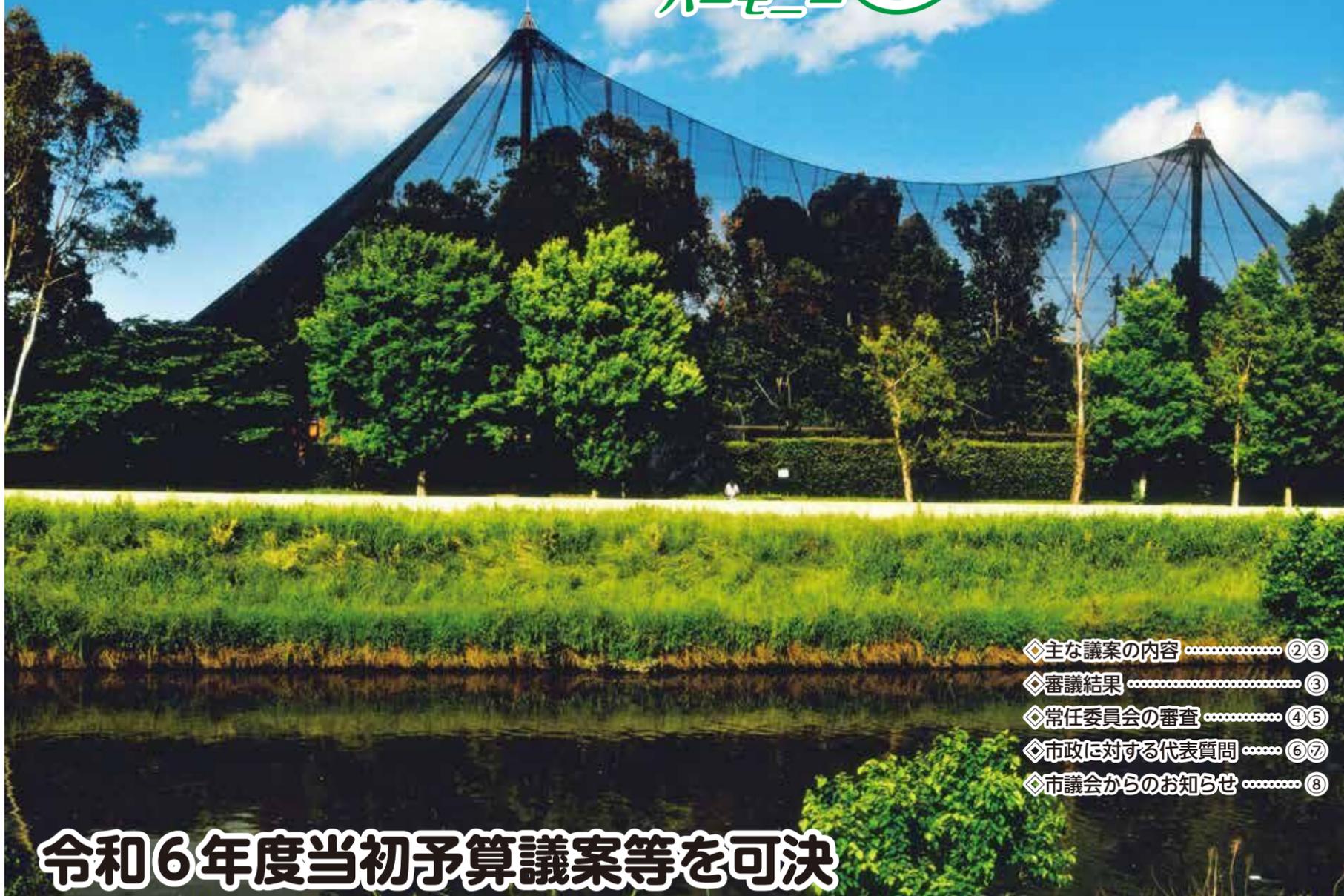
ハーモニー

No.224

令和6年(2024年)

5月1日

発行 越谷市議会
編集 広報・図書室協議会
☎963-9261(直通) ☎966-6006



- ◆主な議案の内容 ②③
- ◆審議結果 ③
- ◆常任委員会の審査 ④⑤
- ◆市政に対する代表質問 ⑥⑦
- ◆市議会からのお知らせ ⑧

令和6年度当初予算議案等を可決

—第5次総合振興計画の着実な推進と
市民にとって真に必要な行政サービスの提供を目指す—

3月定例会の概要

令和6年3月定例会は、2月26日から3月18日までの22日間にわたり開催しました。

本定例会では、「令和6年度越谷市一般会計予算について」など54件の市長提出議案をそれぞれ同意または可決しました。

また、議員提出議案2件は賛成多数により可決し、委員会提出議案1件については、全員一致で可決しました。

なお、本定例会に提出された請願「金権腐敗政治を一掃するよう国に意見書の提出を求める件」は、賛成多数により採択しました。(各議案の結果は3ページに掲載しています。)

※定例会の日程は市議会ホームページをご覧ください。

市議会の傍聴にお越しく下さい

本会議および委員会は、どなたでも傍聴することができます。市議会の活動にふれることのできる身近な方法ですので、ぜひ傍聴にお越しく下さい。

本会議場の傍聴席は、一般席45席、車いすのまま傍聴できるスペースが2台分、親子傍聴席があります。

傍聴を希望される場合は、本庁舎7階議会事務局で受け付けをお願いします。



親子傍聴席は外に音が漏れない構造になっています

市議会だよりの表紙写真を募集しています。
(詳しくは8ページをご覧ください)

表紙の写真「野鳥の森」

撮影者 堀之内 稔様(弥栄町在住)

撮影場所 キャンペルトウン野鳥の森(令和4年5月)

こしがや市議会だよりの愛称「harmony」は、ワンチームを連想させ、調和を奏でるとの思いが込められています。

UD FONT
by MORISAWA



スマホ用アプリ「マチイロ」で市議会だよりをご覧ください。

マチイロ

市議会の様子は、市議会ホームページからご覧いただけます。

越谷市議会

検索

<https://www.city.koshigaya.saitama.jp/gikai/>



主 な 議 案 の 内 容

質疑および討論については、その主なものを掲載しています。
各議案の概要は市議会ホームページに掲載しています。



市長提出議案

越谷市介護保険条例の一部を改正する条例制定について

第1号被保険者に係る介護保険料の見直しに伴い、所要の改正を行う必要があるため、提案されました。

改正の内容は、令和6年度からの本市の第1号被保険者に係る保険料の基準額を月6000円、年額7万2000円とし、階層ごとの保険料率を改定するものなどです。

本条例は、令和6年4月1日から施行します。

▶反対討論

▷ 介護保険制度は、国、自治体、被保険者の負担割合が決められており、仕組みの維持のためにやむをえないと、保険料が値上げされ続けている。コロナ禍に続く異常な物価高騰の中、負担能力を超えた負担の押しつけを見過ごすことはできず、本議案に反対する。



越谷市再生資源物の屋外保管に関する条例制定について

再生資源物の屋外における適正な保管について必要な事項を定めることにより、屋外に保管された再生資源物の火災・延焼、崩落、飛散その他の事故等を防止するとともに、当該保管に伴う騒音、振動、悪臭、水質の汚濁等の発生を防止し、または軽減し、もって市民生活の安全の確保および生活環境の保全に寄与することを目的として、提案されました。

条例の内容は、屋外保管事業者、土地の所有者および市の責務を定めるとともに、屋外保管事業場の設置を許可制とし、事業場を設置しようとする者は、市との事前協議、周辺住民等への説明会の開催を経て、許可申請を行うよう義務付けるものです。

また、屋外保管事業場の立地基準、構造基準、再生資源物の保管基準を定めるほか、屋外保管事業場への立入検査、事業者に対する勧告・命令、違反事実の公表、罰則など、条例の実効性を確保するために必要な事項を定めるものです。

本条例は、令和6年7月1日から施行しますが、罰則に係る規定は、令和7年1月1日から施行します。

▶議案質疑

問 再生資源物屋外保管事業場の新設許可件数の見込みは。

答 本条例の制定によって、再生資源物を屋外で保管する施設の設置を新たな開発要件として認めるものではない。本市の状況を勘案すると、今後の新設許可については数件程度になると見込んでいる。

令和5年度越谷市一般会計補正予算(第9号)について

主な内容は、歳入では、事業費の確定等に伴う市債の整理のほか、再算定に伴う普通交付税を追加します。歳出では、事業費の確定等による整理のほか、国の補正予算の活用による事業費の追加や、財政調整基金への積立金の追加で、補正予算額は5億3000万円の追加となります。

▶議案質疑

問 令和5年度末までに小学校8校の体育館にエアコンを設置する予定が、材料確保が困難なため延期となることについて責任の所在は。

答 材料不足は全国的に起きているものであり、受注者が予想、対応できるものでなく受注者の責めによるものではない。しっかりと市民、学校関係者等に説明し、5月末までに終わらせることで任務を果たしていく。

令和6年度越谷市一般会計予算について

人件費や物価の高騰などが、市民生活に大きく影響する中、地方財政を取り巻く環境は、依然として厳しい状況にある中で、第5次総合振興計画の着実な推進と、「いのちと暮らしを守る」、「子どもが輝く社会に」、「越谷の未来を創る」の、三本柱の政策実現に向けて、編成されました。

令和6年度(2024年度)当初予算の概要

区分	予算額	増減率(%)
一般会計	1157億円	3.5
特別会計	613億9200万円	3.4
病院事業会計	145億2980万円	8.8
公共下水道事業会計	104億6740万円	2.7
総 額	2020億8920万円	3.8

▶議案質疑

問 病院事業会計負担金18億円について、市立病院の経営が危機的状況に陥っており、経営が成り立たない状況であると、市側は査定しているのか。

答 コロナ後もいまだ回復しない患者数の影響や、今後も医薬材料費の高騰などが見込まれていることから、可能な限りの繰出金を計上しなければならない危機的状況であると認識をしている。

令和6年度越谷市国民健康保険特別会計予算について

▶反対討論

▷ 予算案は国保税の値上げを前提にしているが、市民の苦しい生活実態をしっかりと国に伝え、国の負担を大幅に増やすよう求めるべきである。負担能力を超えた負担の押しつけを迫る値上げを前提とした予算案には賛成できないため、本議案に反対する。

令和6年度越谷市介護保険特別会計予算について

▶反対討論

▷ 誰もが安心して使うことができる介護保険制度を目指すためにも、市のさらなる努力と、国への制度改善の要望、働きかけを求める。能力を超えた負担を押しつけ、値上げを前提とした予算案には賛成できないため、本議案に反対する。

議員提出議案

女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書について

本議案は、山田裕子議員ほか5人から共同提案されました。

意見書の要旨

国会および政府においては、男女共同参画社会の実現に向けて、「女性差別撤廃条約」の選択議定書を批准し、国内法制を着実に整備されることを求める。

意見書提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、内閣府特命担当大臣(男女共同参画)、総務大臣、法務大臣、外務大臣

▶反対討論

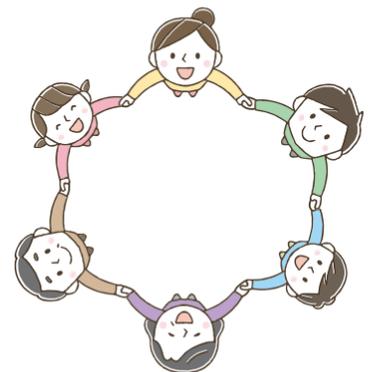
▷ 国においては、個人通報制度の受け入れにあたり生じる、司法制度や立法政策との関連での問題の有無や実施体制等の課題についてさまざまな検討を重ねている。まずは、それらの課題を慎重に検討し、国内法制を整備する必要があり、急がすものではないと考えるため、本議案に反対する。

▷ 女性差別撤廃条約選択議定書は、いわゆる個人通報制度を規定したものである。現在、外務省の見解では、個人通報制度の受け入れについては、各方面からの意見を踏まえつつ、これらの課題を慎重かつ真剣に検討している状況であり、検討は確実に進められている。批准を早急に求めることは、慎重な検討を妨げる可能性があり、国内の混乱につながりかねないことから、本議案に反対する。

▶賛成討論

▷ 条約を批准しながら選択議定書を批准しないのは、法律を作るが守らないと言っているようなものであり、条約批准国として不誠実なことである。男女を問わず、その人がその人らしく社会や家庭で自分の能力を生かして、充実感を持って生活できる社会の実現の一步が、選択議定書の批准だと捉えており、本議案に賛成する。

▷ 歴代の政権は、男女共同参画や多様性の尊重などを言いながらも、本気で男女格差の是正、ジェンダー平等に取り組んでこなかった。今こそ日本のジェンダー平等を国際基準にまで引き上げるため、本議案に賛成する。



請 願

※請願の全文はホームページに掲載しています。



金権腐敗政治を一掃するよう国に意見書の提出を求める件

意見書の要旨

以下の内容の意見書を国に提出してください。

①裏金作りに関与した政治家全員の証人喚問をおこなうこと。

常任委員会 (部門別)の審査

3月定例会に上程された議案のうち、市長提出議案21件と請願1件が部門別の常任委員会に付託され審査を行いました。
※質疑のあった議案について主な質疑と答弁を掲載しています。QRコードを読み取ると、委員会の録画映像をご覧いただけます。

総務

金権腐敗政治を一掃するよう国に意見書の提出を求める件

本請願は、紹介議員ならびに参考人として請願者のうち1名の出席を求め審査を行いました。

質疑・討論の後、本請願を採択することについて採決し、賛成多数により採択と決しました。

※なお、3月18日の定例会最終日に委員長から審査経過ならびに結果の報告があり、討論・採決の結果、本会議においても、賛成多数により採択と決しました。

問 再発防止を図るための方策は。また、全面禁止ではなく、政治資金規正法の下で再発防止につなげていく考えは。

答 (紹介議員・参考人) 政治資金規正法については、用途を明確に限定するなど、法整備を行うことが再発防止につながる。また、今回の請願にあたっては、真相究明が特に大事だと考えており、全面禁止という言葉については、何か良い言葉があれば、意見書として国に提出する際に、言葉を変えて構わない。

問 先日、内閣総理大臣が、連座制導入に言及されたことに対する受け止めは。

答 (参考人) 裏金として出た以上、国民の前で包み隠さず明らかにすることで、連座制も含めて次の一歩が踏み出せるものと考えてる。

▶ **発言** 関わった政治家全員の証人喚問は必要であり、そうしなければ国民の怒りは収まらない。国民の政治不信を払拭していくためにも、ここで積極的に国として動くことが必要だと感じている。

▷ 政党の政治刷新本部による中間取りまとめでは、運用面での改革を先行して進めつつ、法整備を実施する予定であると聞き及んでいる。したがって、いち早く制度改革が実現されることに期待したい。

▶ **賛成討論** 市民感情から言えば、考えられない事実と言える。政治に対する不信を払拭するためにも、越谷市民の声を受け止めて国に意見書の提出を求めることに対して賛同し、本請願に賛成する。

▷ 企業・団体が、政治に強い影響力を持ち、新自由主義や労働法制の規制緩和など、政治をゆがめてきたのが実態で、まさに金権腐敗政治と言わなければならない。企業・団体献金を全面禁止してこそ、根本解決になる。請願を議会で議論し、意見書を提出することは大きな意義があると考え、本請願に賛成する。

民生

越谷市介護保険条例の一部を改正する条例制定について

▶ **反対討論** 「負担の押し付け」を迫る制度に矛盾が表れていると考え、負担増を見越することはできないことから本議案に反対する。

越谷市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例及び越谷市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
問 居宅介護支援事業所の人員基準の改正による影響は。

答 ケアマネジャーの確保が厳しい中、人員配置基準の見直しにより、各事業所では柔軟な事業運営を行うことが可能となる。また、取り扱い件数の見直しにより、利用者はサービスを受けやすくなると考えている。一方、取り扱い件数が増えることは、利用者のサービス低下が懸念されるため、市としては、サービス低下とならないよう、適切に対応していきたいと考えている。

環境経済・建設

越谷市再生資源物の屋外保管に関する条例制定について

問 既存事業場のうち、他法令に抵触する事業場の数は。また、当該事業場に対する指導の考えと市民の相談窓口は。さらに、立地基準に関する指導の考えは。

答 既存事業場26か所のうち農地法の手続きがされていない事業場が9か所、都市計画法に抵触する建築物がある事業場が24か所ある。当該事業場については周知等と併せ、関係課と連携して、積極的に改善を求めていく。なお、市民の相談窓口はまず廃棄物指導課となる。また、既存事業場に対する立地基準については適用除外となるが、住宅が近いことにより想定される騒音関係、さらには振動関係について、所管課と連携しながらしっかりと対応していく。



子ども・教育

越谷市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について

問 条例改正に伴う本市への影響や、民間団体と協働した調整会議などの開催は。また、保育室の設置を1階に限定している理由は。

答 市内に対象施設がないため影響はなく、条例に基づく会議も開催されないが、困難な問題を抱えた方を支援するため、さまざまな会議体を活用する。保育室は厚生労働省令で

耐火基準等の一部を満たせば2階にも設置できるとされているが、避難に時間がかかることなどを勘案し1階に設置することとした。越谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について

問 特定地域型保育事業において、低年齢の子どもを預かる際の散歩コースや安全確保は。

答 事業所の設置にあたり、使用する公園や動線の確認を行っている。また、不適切保育とならないよう、ガイドラインやマニュアルの配付だけでなく、研修等を実施している。



予算決算 常任委員会 の審査

3月定例会に上程された議案のうち、市長提出議案17件が予算決算常任委員会に付託され、各分科会に送付し審査を行いました。

※質疑のあった議案について主な質疑と答弁を掲載しています。QRコードを読み取ると、委員会の録画映像をご覧いただけます。



総務分科会

令和5年度越谷市一般会計補正予算(第9号)について

問 企業版ふるさと納税PR等支援業務委託料の増額理由と、今後のPRの取り組みは。

答 補正額234万円は、本市への寄付をマッチングしたPR業者に対する成果報酬の経費となる。令和5年に、企業版ふるさと納税としての寄付が15件、合計1780万円あったが、このうち、PR業者を通じての寄付が10件、合計1370万円あった。一方、PR業者を通さずに頂いた寄付は、例えば、市内に支店があり、本店が市外にある220社ほどの事業者に対し、直接郵送して寄付の呼びかけを行った。今後もこうした取り組みなどによって、寄付額を増やしていきたい。

令和6年度越谷市一般会計予算について

問 固定資産税が減収となるが、今後の見通しは。また、所有者不明の土地の分析は。

答 固定資産税は、令和6年度が評価替えの年度となるため、在来家屋の減価分などにより減額としている。令和7年度と8年度の2年については、新築・増築の家屋分などにより増額となる見込みである。また、令和6年4月1日より相続登記の申請義務化がスタートするが、賦課期日までに相続登記が行われた場合を除き、これまで同様に相続人の調査

を行うことになると考えている。

問 シティプロモーション推進事業の内容および狙いは。

答 令和5年度に策定する越谷市シティプロモーションアクションプランに基づき、越谷らしさを的確に表現したブランドメッセージとロゴを作成し、PRする。その際、越谷出身のクリエイティブディレクターが案を考え、市民投票による決定により、市民が自分事と捉え、多くの方々に認知されることを目指す。

問 男性のなやみ相談における相談内容の想定、および相談員に対する研修実施の考えは。

答 令和6年10月から月1回の男性専用の電話相談を実施する予定であり、内容としては、仕事や家族、生き方などを想定している。また、専門性の高い男性相談員を配置できるよう準備を進め、研修として、さらに高い見識を持つ者からの指導等を受けるスーパービジョンなどを実施する。

問 火災・救助活動事業として購入予定のドローンの配置場所および研修の内容は。

答 令和5年度に導入済みの1機目とともに、新たに導入予定の2機目についても、市の中央に位置する消防本庁舎に配置する予定である。なお、現時点ではドローン飛行に際して資格は要しないが、有効に飛行するためにはある程度の訓練は必要であると考えている。これまでも民間事業者等を講師に迎え訓練を行っており、今後についても、国や先進消防局等の動向を踏まえて検討していく。

民生 分科会

令和6年度越谷市一般会計予算について

問 通話録音機器の貸与に対する効果と市民の声は。また、今後の特殊詐欺対策の取り組みの考え方は。

答 平成27年度から通話録音機器を貸与しており、令和6年度は100台の貸与を予定している。1年間の無料貸与後、希望の方へは、引き続き利用いただいている。今後も特殊詐欺対策に効果的であることから、継続して事業を進めていきたい。また、その他の詐欺対策として、留守番電話に設定し、直接電話に出ないように周知することや、ふれあい収集対象者への注意喚起等も実施している。

問 越谷きらきらポイント、通称「きらポ」の実績と今後の取り組みは。また、対象を拡充していく考えは。

答 「きらポ」は、65歳以上の高齢者の健康増進を図ることを目的に、令和5年6月から開始された事業であり、スマートフォンアプリを活用し、歩く、脳トレを行う等でポイントを貯めることができる。令和6年度は、約4000人の利用を目指し、取り組みを進めていきたい。また、ポイント利用の適切な対象年齢など、持続可能な事業の在り方について検討していきたいと考えている。

問 コバトンALKOOマイレージ事業開始に伴う本市の対応は。

答 本事業は、「コバトン健康マイレージ」をリニューアルさせたもので、これまでは、歩数計の参加も可能であったが、機能統一化によりスマートフォンのみの対応となった。歩数計の参加者がスマートフォンに移行できるよう、今後も周知していく。なお、市独自ポイントについては、事業の実施予定者と調整を行い、実施していきたいと考えている。

令和6年度越谷市病院事業会計予算について

問 第6期中期経営計画と現状の収支のかい離に対する認識は。また、今後の取り組みは。

答 コロナ禍の影響や光熱水費の高騰など、予測不能な要因が重なり、収支のかい離が生じたと認識している。今後について、HCUの設置を計画している。また、経営改善計画の策定を進めており、当該計画と次期の中期経営計画をリンクさせ、実効性の高い計画にしていきたいと考えている。さらに、次期中期経営計画の中で、市立病院の経営形態について、あらゆる可能性を否定することなく、その手法について検証していきたい。

環境経済・建設 分科会

令和6年度越谷市一般会計予算について

問 ふるさと納税推進事業における委託料の内容は。また、ふるさと納税返礼品開発等支援補助金の内容は。

答 当該委託料は、ふるさと納税にかかる事務を効果的・効率的に進めるために業務委託するためのものであり、寄付者、ポータルサイト、返礼品の協力事業者、配送業者の間で対応する中間管理業務や、ポータルサイトへの情報掲載業務などが主なものとなる。また、ふるさと納税返礼品開発等支援補助金は、市内事業者を対象に、返礼品開発等の補助金を交付するものであり、返礼品を新たに開発する事業、既存の商品やサービスをブラッシュアップする事業、魅力をPRする事業などへの補助を検討している。

問 内水対策事業における応急対策事業の具体的な取り組み内容は。

答 具体的には、水防活動時のホース等資機材や土のう袋の購入をはじめ、排水ポンプ施設の整備、手動ゲートの電動化、水防活動の迅速化・効率化を図るための常設ポンプの設置などとなっている。設計・積算等にかかる時間も考慮し、早めに発注することで、製作期間を長く取れるよう対応していきたい。



東越谷雨水ポンプ場

問 空家等適正管理事業における、空家等実態調査委託料の委託内容は。また、効果的な空き家予防の啓発方法に対する考え方は。

答 当該委託料については、次期「越谷市空家等対策計画」を策定するうえでの基礎資料として、市内の空き家の状況や、所有者等の意向を把握するための調査を委託するものである。なお、今回の調査では、各自治会への協力は求めず、調査を行っていく。また、空き家になる前の早い段階での意識づけ等を目的に、啓発チラシを固定資産税の納税通知書に同封し送付するほか、市外所有者に対しては、ふるさと納税の返礼品であるシルバー人材センターによる「空家等見回りサービス」の案内などの送付も行っている。

子ども・教育 分科会

令和5年度越谷市一般会計補正予算(第9号)について

問 教職員の働き方改革推進事業の効果と今後の進め方は。

答 今年度、市内の小中学校4校へ外部コンサルタントを派遣し、教職員に対するタイムマネジメント研修等を行った後、各学校でアクションプランを立案・実践した結果、時間外勤務時間や在校時間が減少した。今後はこうした成果を各学校に広めていきたい。

令和6年度越谷市一般会計予算について

問 コロナの5類移行による体育館使用料や利用率の推移は。また、総合体育館の利便性向上のための取り組みは。さらに、地域体育館の予約方法や夜間管理人配置の検討は。

答 令和3年度と比較すると令和4年度の体育館使用料は全体で1000万円増、利用率は第1体育室が9.7%増、第2体育室が9%増、北体育館が0.9%減、南体育館が3%増、西体育館が6%増となっている。また、令和6年度は総合体育館2階トイレを洋式化するほか、地域スポーツセンターでインターネットによる予約抽選を試行し、地域体育館の予約方法も検討していく。さらに、夜間管理人をすべての地域体育館に配置する。

問 プレーパーク運営事業の予算が増額となった理由は。また、常設化の考え方や今後の展望は。

答 令和6年度は開催日数を増やし、委託事業として実施するため予算が増額となっている。また、事業開始当初は固定の場所での常設化も検討したが、近隣の理解や拠点施設の建設等の課題があることから、移動型の開催へ事業を転換した。事業への関心は高く、今後も市内各地でプレーパークを開催することで多くの参加者を見込めるものと考えている。



プレーパーク車両(イメージ)

問 語学指導助手の配置状況と意思疎通の方法は。また、語学指導助手の活用による成果や目標設定は。

答 配置人数は現在42名で、週5日、勤務日数200日程度となっており、小学校は3年生から6年生、中学校はすべてのクラスに配置している。また、小学校には日本語である程度コミュニケーションが取れる方を配置しているほか、中学校では英語科の教員を中心にコミュニケーションを図っている。令和5年度における中学3年生の英検3級相当の取得率は58%となっており、今後は国の第4期教育振興基本計画で掲げられている60%を目標値として取り組んでいきたい。

全体会において、以下のとおり討論がありました。

令和6年度越谷市国民健康保険特別会計予算について…反対討論1件

令和6年度越谷市介護保険特別会計予算について…反対討論1件

各議案の概要・請願の内容は右記QRコードからご覧いただけます。



議案

請願

市政に対する 代表質問

※各会派の所属人数に応じた掲載枠となっています。

3月定例会では8会派が市政全般について質問を行いました。
※代表質問は、会派を代表する議員が、市の行政事務について市長および執行機関に質問することで、越谷市議会では1会派2時間を目途に行われます。

各会派名の右に掲載しているQRコードをスマートフォン等の専用アプリで読み取ると、代表質問の録画映像をご覧いただけます。

自由民主党 越谷市議団

野口 佳司 議員



自治会加入促進に向けた方策について

問 近年、自治会加入率が低下傾向にある。自治会は、協働のまちづくりを推進させるための原動力として不可欠であると考え。地域地区の連帯感を高め、防災、安全・安心をより推進し、強固なコミュニティの確立を目指す自治会の重要性について、市として自治会加入率の現状をどのように捉えているのか。

市長 自治会加入率の低下は非常に憂慮すべき事態であり、大きな課題であると認識している。自治会連合会と連携しながら、自治会加入促進のためのさまざまな方策について検討するとともに、市から自治会への依頼事項について整理し、見直していく。市としては、引き続き、地域社会で重要な役割を担う自治会の円滑な活動や活性化に向けた支援に取り組んでいく。

市立病院の救急医療体制の充実に向けた取り組みについて

問 市立病院で救急の受け入れを断られたとの市民の声をよく耳にする。令和4年12月に、市長、病院長の連名で救急患者の受け入れ方針を明確に打ち出しながら、現場の救急医療体制、スタッフはどのようになっているのか。また、現状における医師不足は想定できるが、医師の確保について今後どう取り組んでいこうとしているのか。

市長 救急受け入れの断りの多さについては、当院の解消すべき喫緊の課題と認識している。今年度から定年を迎えた消防局の救急救命士を再任用職員として配置し、救急隊との連携強化を図るなど、新たな取り組みを行った。これらの取り組みもあり、今年度の救急患者の受け入れ件数は前年同時期に比べ、改善傾向にあるが、依然として課題も多く、さらなる取り組みが必要と考えている。また、医師の確保については、令和6年度から施行される医師の働き方改革の影響等により、これまで以上に厳しい状況が予想されるが、順天堂大学に対し、医師の派遣について引き続き要請を続けるとともに、近隣大学病院との連携など新たな取り組みによる医師の確保についても調整していく。今後も安全・安心な医療の提供が行えるよう救急医療体制の強化に取り組んでいく。



市立病院

バス路線に対する市の対応について

問 近年、運転手不足を背景に、市町村が運行するコミュニティバスの存続が危ぶまれている。高齢化時代の今、交通弱者と言われる地域に対して、行政とバス事業者が連携して答えることができるかが喫緊の課題であると考える。昨年、市内各地において持続可能な公共交通に関する意見交換会を開催しているが、特に前半開催した乗合交通が利用しづらい地域の6地区に対し、今後の方向性や取り組みをどう考えているのか。

市長 バス路線がない、バス路線があっても本数が少ない地域における移動手段の確保は、特に高齢者や運転免許証の返納者など、日常的な移動にもお困りの方々にとって切実な問題と認識している。市ではこれまで乗合交通が利用しづらい新方地区をモデル地区に、定時定路線型のミニバスの試験運行や予約型乗り合いタクシーの実証運行の事業を、また、地域公共交通利用支援事業として、高齢者バス・タクシー共通利用券の配布を行ってきた。さらに、市内13地区で意見交換会を計52回開催するとともに、3000人を対象にアンケート調査を実施し、さまざまな世代、地域の皆様から意見を聞いてきた。今後については、乗合交通が利用しづらい地域における試験運行をはじめ、これまでの事業成果や意見交換会およびアンケート調査等を踏まえつつ、高齢化や運転士不足など社会情勢の変化も見据えながら、財政支援も含めて本市に適した持続可能な公共交通の方向性や取り組みについて検討していく。

公明党 越谷市議団

竹内 栄治 議員



「越谷市無電柱化推進計画」について

問 当面の優先的事業化の路線は。

市長 主な路線として、都市計画道路の千間台駅西口線は今年度から事業化し、来年度からは越谷吉川線を道路工事に併せて着手予定である。さらには越谷サンシティ周辺道路などを選定している。



無電柱化が完了している大袋駅西口線

千間台駅西口線の電線類地中化事業について

問 浸水被害等によるトランス等の地上機器の安全性を確保するための整備手法と財源確保の考え方は。

市長 地元説明会での意見を踏まえ、市として地上機器の設置管理者と連携し、令和6年度に実施予定の詳細設計の中で、具体的な整

備手法等を検討し、改めて説明する。また、多額の費用を要することから、国の補助金「無電柱化推進事業補助制度」や「社会資本整備総合交付金」を活用する。

豪雨・洪水の水害における罹災証明書発行について

問 豪雨、洪水の水害による罹災証明書の発行に官民連携の被災家屋認定調査の取り組みを導入する考えは。

市長 損害保険会社から損害調査結果や調査情報の提供を受けることで、罹災証明の早期発行につながり、調査家屋数の軽減による職員の負担軽減や費用の削減なども見込めることから前向きに検討する。

COCOLOプランの取り組みの「多様な学びの場の確保」について

問 自宅での「オンラインおあしす」にも加わっていない児童生徒への「つながりの場」確保に向けた今後の取り組みは。また、学びの多様化学校設置についての考えは。

教育長 教室に入ることの難しい児童生徒が学校内で学べる場としてスペシャルサポートルームを小学校から段階的に新設するほか、適応指導教室「おあしす」、「オンラインおあしす」の拡充に取り組む。また、学びの多様化学校について情報収集し調査研究する。

安心して受けられる学校健診等について

問 児童生徒等のプライバシーや心情に配慮した健康診断に対する環境整備は。

教育長 児童生徒のプライバシーや心情に配慮した取り組みについては、学校医・学校・医師会と協議・連携する。原則体操服等の着衣での実施であるが、必要な視触診の場合には事前に児童生徒・保護者へ説明を行う。

学校におけるがん教育について

問 がん教育充実のために外部講師を活用する考えは。

教育長 各校における学校医との連携に加え、県教育委員会や保健医療部との連携事業である「がん教育外部講師派遣事業」等の情報提供を行い、積極的な活用を促していく。

越谷刷新 クラブ

武藤 智 議員



持続可能な大規模公共事業の考えについて

問 越谷市の公共施設の多くが高度成長期に整備され、更新時期を迎えたことから、平成27年に越谷市公共施設等総合管理計画を策定し、10年を迎えようとしている。当初の計画で大規模改修と予定されていた学校が建て替えとなるなど計画が変更されているが、本来であれば将来的な財政負担を軽減すべく改修による長寿命化や複合化、統廃合等を行うべきである。越谷市内には小学校29校、中学校15校があり、市が保有する公共施設のうち学校施設が占める割合は高いものになっている。今後進んでいく少子高齢化やそれに伴う財源の硬直化などさまざまな課題が考えられる。小中学校・公立保育所・給食セン

ター・市立病院・市営住宅・荻島地区産業団地・道の駅等、それぞれ今後の在り方と財政負担の考えは。

市長 本市の人口が減少の局面に入らる中で、大規模な公共事業に取り組むためには、各事業の緊急性や必要性、費用対効果等を勘案し財政負担の軽減や平準化などを図りながら進めていく必要があると考えている。また、公共施設等総合管理計画のもと、コストや建物総量の抑制、長寿命化などを図りつつ、適切な施設の維持に取り組む。

問 小中学校・公立保育所・給食センター・市立病院・市営住宅・荻島地区産業団地・道の駅等の大規模公共工事の優先順位の考えは。

市長 優先順位をつけるのであれば、市民の命と暮らしを守る施設や、人を育む施設等の整備の優先順位は高いと考える。しかし大規模公共事業の実施にあたっては、施設の老朽化や財政負担および見直し、さらに財政の平準化など総合的に判断していく。

保育行政について

問 さいたま市・川口市・草加市・三郷市・八潮市・春日部市では保育士向けの就労サポート事業の家賃補助を行っているが、越谷市において家賃補助制度を創設する考えは。

市長 家賃補助については、今後予定されている保育士の配置基準の改善や、こども誰でも通園制度の実施を見据える中で、保育人材の確保に向けた総合的、効果的な支援策の実施について調査研究する。

こしがや 無所属の会 菊地 貴光 議員

コロナ禍における財政状況について

問 コロナ関連予算の令和2年度から4年度までの歳入の状況は。

市長 事業の主な財源である国庫支出金の合計は611億円。うち新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は71億円であった。

問 コロナ関連予算の令和2年度から4年度までの歳出の状況は。

市長 事業費の総額は632億円。内訳は、特別定額給付金をはじめ各種給付金が480億円で76%、ワクチン接種をはじめ感染症対策が88億円で14%、プレミアム付き商品券や物価高騰対策など事業者を含む市民への対応が30億円で5%であった。

問 コロナ関連予算の多くは国からの財源であるが、市の一般財源からの持ち出し額は。

市長 13億円であった。

中川・綾瀬川緊急流域治水プロジェクトについて

問 事業の概要は。

市長 中川・綾瀬川流域では、令和元年の東日本台風をはじめとした近年の水災害に備え、令和2年8月に中川・綾瀬川流域治水協議会が発足し流域治水を進めている。令和5年6月の台風2号の被害を受けて、本市を含む6市1町および国・県により、令和6年2月に緊急プロジェクト案が取りまとめられた。国・県で施策に取り組むほか、市では浸水被害の大きかった新方川、元荒川、綾瀬川周辺地区などを対象に、排水ポンプ施設の整備や雨水貯留施設の整備・検討等のほか、県と連携を図りながら新方川において新規調整池検討を行うこととしている。

介護保険事業について

問 2025年問題が言われて久しいが、第9期介護保険事業計画の3年間の期間中に2025年を迎える。給付金の見直しは。

市長 第7期の実績は約549億円、第8期はコロナによる利用控え等により約634億円、第9期は約796億円を見込んでいる。

問 第8期の評価と課題への取り組みは。

市長 第8期では21の柱のもと96事業を展開したが、第9期では25の施策の柱のもと104事業を展開する予定である。

立憲民主党 越谷市議団 後藤 孝江 議員

健康づくり行動計画・食育推進計画「いきいき越谷21」の第3次計画(案)の策定上の見直しポイントおよび重要策等について

問 平均寿命と健康寿命の差を短縮することは、個人の生活の質の低下を防ぐことができ、重視されていると感じる。最近では、睡眠障害など、新たな課題も出てきている。このような現状と第2次行動計画を踏まえ、第3次行動計画の策定にあたり、計画の見直しのポイントや重点的施策などどのように進めてきたのか。また、本計画概要版の作成の考えは。

市長 策定にあたり、本計画の基本理念を上位計画である第5次総合振興計画の大綱2のまちづくりの目標に合わせ、「みんなが健康で共生して住み続けられるまちづくり」に変更し、基本編成も国の「健康日本21」を参考に行った。「ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり」では、基本理念を達成するための7つの健康分野にもキーワードとして変更が加わるなど、本計画の重点ポイントとしている。また、休養・睡眠が心の健康に及ぼす影響を踏まえ、「こころの健康」としていたものを「休養・睡眠とこころの健康」に、「がん対策と健康管理」としていたものを「がん対策とライフコースアプローチを踏まえた健康づくり」に変更するとともに、重点的に推進すべき事業の抽出や新規事業の追加を行うなど見直しを図った。本計画に基づき施策等を推進し、引き続き市民と地域、団体と行政が連携し、健康づくりおよび食育の推進を図っていく。また、計画冊子と併せて、概要版を作成し、本計画の周知啓発に活用していく。

日本共産党 越谷市議団 山田 大助 議員

避難想定の見直しと災害関連死を防ぐTKBを備えた避難所運営について

問 市の避難想定は最大人数は2万人とのことだが見直しの考えは。また避難生活に必要なTKB(トイレ・キッチン・ベッド)を十分に備える考えは。

市長 市の避難想定は、県の被害想定調査に基づいている。今後新たに調査が実施されればその結果を踏まえて対応する。またトイレは各避難所8基程度の配置。食料は避難想定人数の2割増しの備蓄をしているが、温かい食事の提供は今後検討していく。ベッドは備蓄スペースを圧迫するため増やせていない。

教職員の働き方改善について

問 過労死ラインである残業月45時間・年360時間以内の達成の目標年度は。また達

成のための根本的な対策として、市の単独採用も含めた教員の増員が必要と考えるが。

教育長 目標年度は言えない。教員を増やすことは学校にとっても非常に助かる。国の定数改善を引き続き要望していく。教員のなり手不足の問題と考えるため、市費ではなく県費採用を増やすよう県に求めていく。

公共交通の意見交換会およびアンケートの結果と今後の考え方について

問 県内自治体の約7割が公共交通に財政支援をしており、意見交換会等でも「なぜ越谷は財政支援をしないのか」との声が多いが、今後の方針で財政支援を前提とする考えは。

市長 民間事業者だけでは成り立たないことから話が始まっている。福祉的視点を重視し、税金の使い方として有効といえる財政支援はしていくものと考えている。

越谷市民 ネットワーク 山田 裕子 議員

環境に配慮した農業の推進について

問 国が策定した「みどりの食料システム戦略」では、気候危機を踏まえ、環境に配慮した持続可能な食料システムを構築するとしている。越谷市における環境に配慮した農業の推進状況は。

市長 本市では、農業における環境負荷を低減する取り組みの一つとして、対象農薬の使用回数や化学肥料の窒素成分量が埼玉県の定める一般的な基準の50%以下で栽培される特別栽培農産物生産を促進するための予算を計上している。今後は、越谷市農業協同組合と連携し、農業者に対して周知啓発するとともに、生産支援に取り組むほか、環境に配慮し生き物にも優しい作り方をしている「越谷ふるさと米」も生産支援の対象とし、生産量の拡大につなげていきたいと考えている。今後も有機農業に限らず、環境負荷を低減した農業を推進するとともに、農業者の所得向上や新規就農者の確保に向けた支援など持続可能な農業の実現に向けて取り組んでいく。



越谷ふるさと米を保育給食に使用

日本維新の会 小林 成好 議員

南越谷駅・新越谷駅周辺の都市基盤整備について

問 現在JR社宅や南部浄水場で行き止まりとなっている「新越谷駅北通り線」道路の未整備部分の進捗は。

市長 東西交通の円滑化や安全性確保などの観点から、整備の優先度は高いと認識している。JRの土地は、本年度用地測量を実施し、調整を図った。さらに、南部浄水場については、施設の廃止に向けた検討を行っているとのことで、関係者と協議を進め、本路線の整備に向けた取り組みを進めていく。

こしがや市議会からの



議会人事

令和6年3月定例会において、各委員等の辞任および任期満了に伴い、次の方々を選出しました。

議会運営委員会委員

横井 聖美

社会福祉審議会委員

白川 秀嗣

越谷市土地開発公社理事

和泉田宏幸

越谷市土地開発公社監事

野口 佳司

4月臨時会について

令和6年4月臨時会を4月26日に開催しました。

議案の内容や議決結果など、詳しくは市議会ホームページをご覧ください。ホームページについて詳しくは下段をご覧ください。

6月定例会の開催予定

令和6年6月定例会は、6月3日(月)から20日(木)までの18日間にわたって開催する予定です。

詳しくは、市議会ホームページまたは議会事務局までお問い合わせください。(☎963-9261)



越谷特別市民
ガーヤちゃん

傍聴して一言

本定例会では、115人の傍聴者がありました。いただいた感想から一部要約して紹介します。

■委員会を傍聴したが、委員および担当職員の様子を伺え充実したものだった。

■初めて委員会を傍聴した。執行部の真摯な答弁や姿勢を見て、予算の使い道や市の取り組みに安心を覚えた。

■議場での発言内容が把握しづらかった。傍聴席に個別にイヤホンを設置してほしい。

■今まで議会中継を観たことはあったが、傍聴には初めて来た。貴重な経験だった。今後も積極的に市政に参加していきたい。

- 表紙写真募集 -

あなたが撮影した
写真を掲載します!



令和6年8月1日号のこしがや市議会だよりの表紙写真を募集します。

募集内容

越谷市に関連する行事、風景、人物、その他季節に合うもの

応募規定

1人1回につき2枚まで。おおむね3年以内に撮影したもの。(ただし、景観に変化がなければ制限はありません)

応募資格

越谷市在住、在勤または在学の方

応募期間

令和6年(2024年)7月10日(水)まで

応募方法・応募先

応募票に写真を添えて議会事務局(本庁舎7階)まで提出してください。

また、写真をメールで提出していただくこともできます。採用された写真には、応募者(撮影者)の氏名、写真のタイトル、撮影場所を掲載します。なお、応募写真は表紙に合わせて、適宜トリミングや文字の追加等の画像編集を行いますのでご了承ください。

※応募規定など詳しくは市議会ホームページをご覧ください。

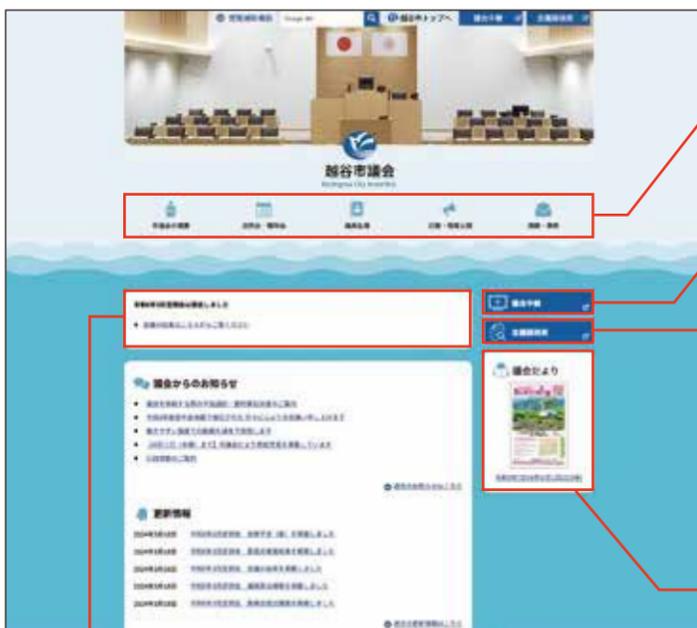


◀令和5年度
表紙写真



令和4年度▶
表紙写真

市議会ホームページをご覧ください



上部に表示した5つのメニューから情報を探せます。

本会議、常任委員会のライブ中継および録画中継がご覧になれます。

会議録検索システムでは、過去20年の会議録が閲覧できます。会議名、発言者、キーワードから検索することもできます。

議会だよりはページごとに文章や写真が掲載されています。PDFのダウンロードもできます。

旬の情報、定例会の情報をページ上部に掲載しています。



市議会 豆知識

市議会の用語や仕組みを解説します。

●参考人

参考人は、本会議や委員会の求めに応じて出席して意見を述べる者のことです。

本会議または委員会では、審査または調査のため必要があるときは、参考人の出頭を求め、その意見を聞くことができます。

令和6年3月定例会の総務常任委員会では、請願審査のため、請願者のうち1名が参考人として出席し、審査を行いました。※詳しい審査内容は4ページをご覧ください。

編集後記

議会だよりをお手に取っていただきありがとうございます。

新緑の眩しい季節となりました。令和6年3月定例会では、各会派の代表質問が行われました。また、令和6年度の予算について各予算決算常任委員会分科会に分かれて審査いたしました。市民の皆様のご意見が市政に反映されるべく我々議員も尽力してまいります。

広報・図書室協議会委員
大田 ちひろ